

国立健康危機管理研究機構

NKKMC

国立国府台医療センター

2027
看護職員
募集案内

NURSING
RECRUITMENT
GUIDE



National Kohnodai
Medical Center

地域の安心を、チームでつなぐ。 こころとからだにやさしく寄り添い、 感染症や災害にも備えた医療。

国立健康危機管理研究機構（JIHS）は、世界トップレベルの「感染症総合サイエンスセンター」として、感染症をはじめとする様々な疾患、健康危機から国民の皆さまを守ることのできる総合医療研究機関です。国立国府台医療センターは、JIHSに所属する総合診療機能を有する病院の1つとして、臨床機能と研究開発機能を中心に医療・看護を実践しています。また、地域医療支援病院として24時間救急患者さんを受け入れ、地域の人々の信頼に応えられるように医療を提供しています。

こころとからだを看る。 それが私たちの看護です。

国立国府台医療センターには、一般病棟と精神科病棟があり、日々ののちこころに向き合っています。身体疾患、精神疾患を合併している患者さんが多く、こころとからだ両方のケアが必要です。「こころとからだを看る看護」の実践のために、一般科と精神科の専門性を備えた看護師が力を携えて、根拠に基づいた看護を実践し、患者さんが安心して療養できる環境を整え、患者さんの心に寄り添うあたたかい看護を提供しています。院内教育では、看護技術習得はもちろん、倫理観やリーダーシップを養うプログラムを揃えています。新人看護師は、集合教育に加え、個性をふまえた手厚いOJTによる

指導体制でのびのび育つ環境にあります。新人からベテランまで幅広い年齢層の看護師があり、忙しい中でも医師や他職種とのチームワークがよく、明るく誇り高く働ける職場です。地域から求められる国立国府台医療センターで、患者さんのこころとからだに寄り添うあたたかい看護を一緒に実践しましょう。



看護部の 理念

かけがえのない生命と
人間性を尊重し、
あたたかい看護をめざします

看護部の基本方針

安全で質の高い
看護の提供に
努めます。

看護教育、
看護研究を推進し、
看護を創造します。

変化する医療に
対応できる
看護をめざします。



患者中心の チーム医療の推進

ICT・褥瘡対策チーム・精神リエゾンチーム・栄養サポートチームなど、こころとからだをケアするチームのほか、地域医療連携室やソーシャルワーカーなど多職種が協働し、患者さんの治療から退院後の生活へのサポートを行っています。患者さんの思いやQOLを第一に考え、看護を実践しています。



急性期から在宅へつなげる 精神科看護

千葉県精神科救急医療システム基幹病院に指定され、24時間患者さんを受け入れています。患者さんや家族が安心して元の生活に戻れるよう、入院早期から多職種が支援し、地域で過ごせることを目指しています。退院後は訪問看護師が地域支援者と協働し、精神症状悪化前兆の発見や服薬援助など病状や生活の安定と維持を支援しています。

国立国府台 医療センター



〔開設〕
1945年12月

〔施設病床数〕
335床

〔職員数〕
489名(看護職員280名)

〔看護配置〕
一般病棟 10:1
精神科病棟 13:1
〔看護方式〕
固定チームナーシング
〔勤務体制〕
二交替(3・3夜勤)

〔診療科〕
内科、心療内科、精神科、児童精神科、呼吸器内科、消化器内科、肝臓内科、循環器内科、アレルギー科、リウマチ科、外科、整形外科、脳神経外科、泌尿器科、眼科、耳鼻咽喉科、救急科、歯科、麻酔科など 全36診療科

※2025年4月現在

働き続けられる支援体制

▶ 長期院外研修支援

認定看護師教育課程・特定行為研修：勤務扱いで修学することができます。

▶ 自己啓発等休業制度

国立看護大学校、その他の大学・大学院等における修学のための休業制度があります。

▶ 育児支援

働きながら子育てができる育児支援体制が整っており、多くの先輩たちが仕事と育児を両立しています。

◇ 産前・産後休暇：就業規則により、産前・産後の休暇、および業務の軽減等が決められています。

◇ 育児休業：最長3年間まで育児休業が取れます(要申請)。

◇ 短時間勤務：育児のための短時間勤務があります(男女共)。

めざす看護を実現するために ～キャリアアップ支援体制の充実

国立国府台医療センターは、一般科病棟と精神科病棟を有しており、地域医療支援病院としての役割を求められています。看護部では、こころとからだ、人間性を尊重し、「あたたかい看護」を誠実に実践できる看護師を育成しています。個々の看護師が看護の専門性を追求し、主体的に学習できるようキャリアラダーを導入し個々に併せた支援をしています。

院内教育計画

キャリアラダー	ねらい	研修内容
レベルⅠ	専門職業人として自覚を持ち、基本的な看護手順に従い必要に応じ助言を得て看護を実践できる	看護技術①～⑩ リフレクション①② 多重課題 感染①スタンダードプリコーション 医療安全①KYT 褥瘡 精神疾患の基礎知識(精神疾患/認知症/せん妄) 意思決定支援① 急変時対応 静脈注射 フィジカルアセスメント① 看護観①
レベルⅡ	標準的な看護実践を自立して行い、個別の状況に応じた判断と実践を行う	ストレスマネジメント 根拠に基づく看護実践 看護倫理①看護の役割 メンバーシップ 感染②経路別予防策 精神疾患患者の看護 症状緩和 がん患者の看護 後輩育成① 意思決定支援②ケアの検討 後輩育成② 医療安全③事故要因分析 リーダーシップ① 感染③発生時の対応 看護観②こころとからだをみる看護
レベルⅢ	幅広い視野で予測的に判断し実践を行い、ロールモデルとなる	看護倫理②4分割法 リーダーシップ② フィジカルアセスメント② 後輩育成③ 感染④サーベイランスの活用
レベルⅣ	より複雑な状況において創造的な実践を行い、組織や分野を超えて参画する	看護管理①～⑤ 感染⑤

◆新人看護師のための教材

看護手順に沿ったチェックリストを用いて看護技術の到達度を評価、確認します
※E-learningによる学習システムで看護技術の知識や手順を学ぶことができます

認定看護師

専門看護師	人数
精神看護	2名
慢性疾患看護	1名
認定看護師	人数
感染管理	2名
皮膚・排泄ケア	1名
がん化学療法看護	1名
がん性疼痛看護	1名

認定看護管理者 4名

日本精神科看護協会
精神科認定看護師
(精神科身体合併症看護)

※2025年4月現在

専門・認定看護師

6領域9名の専門・認定看護師が、集合研修や各部署での勉強会を行い、専門的な知識・看護技術の指導をしています。

感染管理認定看護師

院内感染から患者さんと職員を守る感染管理認定看護師として活動しています。専門知識を活かし、各部署のリンクナースと連携しながら、手指衛生や個人防護具の正しい使用方法など、感染対策の指導と改善活動を推進しています。リンクナースの成長や、指導内容が現場で実践され、感染リスク低減につながっていることにやりがいを感じています。今後は、さらに多くのスタッフと連携し、より安全な環境を追求していきたいです。



皮膚・排泄ケア認定看護師

皮膚・排泄ケア認定看護師は、褥瘡ケアに対してスタッフ指導及び、患者・家族指導や相談を受けています。また、ストーマ造設患者の術前指導や術後の装具選択、セルフケア指導を行い、退院後はストーマ外来でフォローをしています。スタッフ全員が適切な褥瘡ケアを提供できるよう、定期的に褥瘡対策委員会を開催し、リンクナースと共に日々原因と対策を話し合い、実践に活かしています。

新人看護師

私は国立国府台医療センターの「こころとからだをみる看護」というところと、教育体制がしっかりと整っているところに惹かれて入職を決めました。入職から半年が経ち、新しく経験することばかりで忙しい毎日を過ごしていますが、病棟で先輩方に丁寧に指導していただき少しずつできることが増えていることが嬉しいです。これからも多くのことを吸収していき、「こころとからだをみる看護」を実践できるように努めていきたい思います。



精神看護専門看護師

自己啓発休業制度を利用し、大学院への進学を経て、精神看護専門看護師の資格を取得しました。「こころ」と「からだ」を支える看護が実践できるよう身体疾患をもつ患者さんや家族への心のケアや、精神科看護に関する教育的支援を行っています。また、看護師が心身ともに健康で働けるようメンタルサポートにも力をいれ、メンタルヘルスケア研修やサポート体制の構築にも取り組んでいます。



心とからだを支える看護を 実践できる、看護師を育成

▶ 年間教育（1年目）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
看護実践	■ 職場環境に慣れ、 社会人としての 自覚をもつ ■ 遅出	■ 指導のもと患者に 基礎看護技術を 実践する ■ 夜勤シャドーイング	■ 指導のもと安全で 安楽な看護を実践する ■ 夜勤トレーニング (1回目)	■ 夜勤業務を理解する ■ 夜勤トレーニング (2回目)	■ チームメンバーとしての 役割を理解する ■ 夜勤フォローアップ ～独り立ち	■ 急変時の 初期対応が できる	■ メンバーの役割を 遂行する				■ 指導のもと複雑な 病態患者の看護を 実践する	
研修プログラム	4月 ■ 新採用者 オリエンテーション ■ 基礎看護技術研修 ① 社会人基礎力 ② 体位変換/移乗・移送 ③ 清拭・オムツ交換 ④ 与薬 ⑤ 点滴管理 ⑥ 食事介助/口腔ケア	5月 ⑦ 吸引 ⑧ 膀胱留置 カテーテルの挿入	6月 ■ リフレクション①	7月 ■ 感染①スタンダード プリコーション ■ 医療安全①KYT		9月 ■ 急変時の対応 ■ 精神看護の基礎	10月 ■ 多重課題 ■ リフレクション②	11月 ■ 静脈注射	12月 ■ フィジカル アセスメント①		2月 ■ 看護観①	
												
	バイタルサイン	夜勤オリエンテーション				吸引	急変時の対応	グループワーク	ストラップ授与式			

病棟でのサポート体系



▶ 1日の勤務スケジュール(2交代制)

日勤 8:30～17:15

8:30	8:45	9:00	9:30	10:00	11:45	12:00	14:30	16:00	17:15
出勤	朝のミーティング	患者さんにあいさつ	点滴の準備	検温・清潔ケア	配膳・食事介助	お昼休憩	カンファレンス 病棟ラウンド	看護記録	勤務終了

夜勤 16:00～9:30

16:00	16:45	17:00	17:30	18:00	19:15	19:30	21:00	22:30	24:00
出勤 情報収集	ミーティング	患者さんにあいさつ	点滴の準備 配膳準備	配膳・検温 イブニングケア	休憩	検温 イブニングケア	消灯	休憩 22:30～24:30 2時間の休憩	
0:00	1:00	2:00	4:45	5:00	6:00	7:00	8:00	9:00	9:30
ラウンド		点滴準備 点滴更新	休憩	内服薬準備	検温 モーニングケア	採血 配膳準備	配膳	下膳 内服介助	勤務終了

▶ 国立国府台医療センター看護師宿舎

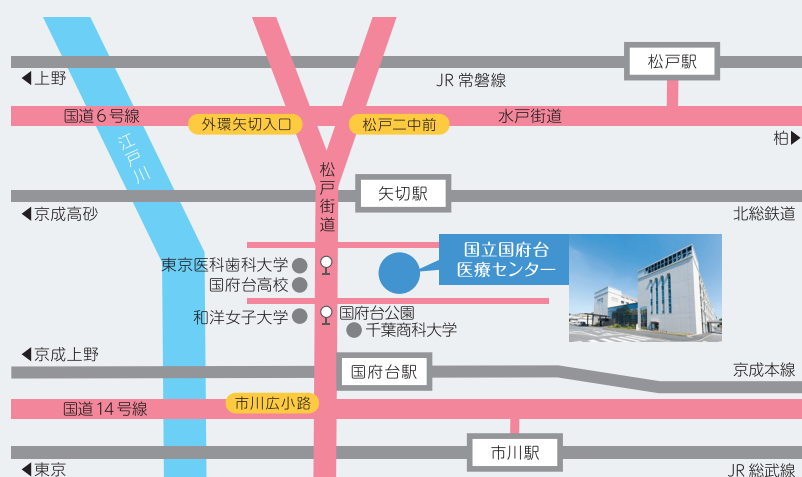


設備

- 2012年建築、1K(7畳)36室 病院まで徒歩約1分
- エアコン、バストイレ別、浴室換気乾燥機、温水洗浄便座、室内洗濯機置場、インターネット接続
- モニター付きインターホン、オートロック、カードキー、駐輪場

バスのアクセスが良く、最寄り駅が充実しています。市川駅から東京駅まで19分、東京ディズニーリゾートまで34分と生活や遊びに便利な環境です。徒歩圏内に里見公園や江戸川遊歩道があり、お花見や散歩が楽しめ、豊かな自然の中で生活ができます。

アクセス MAP



国立健康危機管理研究機構
国立国府台医療センター

〒272-8516 千葉県市川市国府台1丁目7-1
<http://kohnodai.jihs.go.jp>



国立国府台
医療センター
看護部